

— 広 告 —



八木 瑞基 (やぎ みずき)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
建築学専攻  
博士前期課程二年  
静岡県立清水館高等学校出身

# 夢の実現に高鳴る鼓動。 「世界を変えた書物」展開催。

一度遠くへ去っていった夢が、いま自分の手の中にある。高鳴る鼓動といささかの緊張とともに、八木さんは十月二十一日、金沢21世紀美術館で幕を開ける「世界を変えた書物」展を待つ。

同展は、十五世紀以降、科学的発見や技術的発明が最初に発表された初版本を中心に、約二千点を所蔵するKIT「工学の曙文庫」の魅力

力を、学外に発信するプロジェクトのひとつ。二〇二二年から一九年まで、金沢、名古屋、大阪、東京、福岡の五都市で開き、硬派の展覧会としては異例の約二十万人が来場し、大きな話題を呼んだ。

感動や興奮、やりがいに、「僕も！」と募る憧れがあった。そして、同展の会場構成や展示デザインを指導する宮下智裕教授のもとを訪ね、研究室の一員に加わった。しかし、これまでの集大成として二〇年に予定されていた金沢展は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行で頓挫した。「キックオフから約三カ月、企画を精査する段階に入っていたのでショックでした。ただ、研究室で進む産学連携型のプロジェクトが忙しかったおかげで、引きずることはありませんでした。」と振り返る。

そんな彼のもとに昨春秋、「金沢展開催」の朗報が届き、プロジェクトチームの統括リーダーに迷わず手を挙げた。「今回、特別企画として人類史に輝く超天才レオナルド・ダ・ヴィンチを取り上げます。彼の残したノートやスケッチの『手稿』を通して、宇宙を思わせるダ・ヴィンチの知の広がり、それが今日の科学技術を育む種子になっていることを紹介します」。封印した無念を解き放つ喜びと熱さが、インタビュ어의端々に宿っていた。同時に、応答に無駄な回り道がなく、簡潔で明快な説明にも驚いた。「宮下研のプロジェクトで外部の方と頻繁にコミュニケーションを取る中で鍛えられたかもしれないね」。KITの掲げる「学力×人間力＝総合力」の意味が、八木さんを見ているとよく分かった。

就活も終わり、木造注文住宅のリーディングカンパニーから内定を得た。「巨大な公共建築よりも、施主とキャッチボールして作る住宅、それも木の優しさが好きなんです」。茶畑から駿河湾を一望する牧之原台地の農家で、緑の風を胸いっぱい吸って育った、いかにも彼らしい選択だと思った。

KIT  
キャンパス  
レポート  
文・杉村裕之

金沢工業大学  
石川県野々市市扇が丘七二一  
電話番号(〇七六)二四八二〇〇